

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	豊岡市立日高農林漁業体験実習館	所在地	豊岡市日高町栗栖野59番地の13
設置目的	地域資源を活用し、都市住民と地域住民との交流により農業農村の活性化を図り、もって住民の福祉の向上に資する。	設置年月日	
		1993年11月	
選考方法	非公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方向性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	継続

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株) 日高振興公社	指定期間	2018年4月1日から2022年3月31日
指定管理業務の内容	(1) 地域農林水産物の消費拡大、地域特産品等の展示及び即売、郷土伝統工芸の実習体験、地域特産品等の通信販売、地域資源の活用及び地域文化の交流の促進に関するに係る業務 (2) 実習館の使用及びその制限に関する業務 (3) 実習館の維持管理に関する業務 (4) 上記に掲げるもののほか、市長が定める業務	指定管理料（千円）	なし

3 総合評価

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記の判断理由や具体的内容)

道の駅「神鍋高原」と併設した施設で、主に飲食店「お食事処かんなべ」を運営している。今期指定管理期間の終盤は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出・外食の自粛要請により、他の飲食店と同様に大きな影響を受けた。そのような中で、利用者の声を聞き、新たにテイクアウトメニューを充実させる等、ニーズへの対応と経営努力を行っている姿勢は評価できる。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

日常的に施設・設備の維持管理に努めているものの、老朽化による修繕必要箇所の増加が懸念され、優先すべき修繕箇所及び修繕費用の負担について指定管理者と協議しながら計画的に対応する必要がある。また、利用者増加に向けて、観光客には「神鍋ならではの」をアピールできる、地元住民には何度もリピートしたくなる等、客層に合わせた戦略的なメニュー開発・選定が必要であり課題である。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

(上記の判断理由や具体的内容)

日高農林漁業体験実習館は神鍋温泉ゆとろぎを含め、2022年度に道の駅「神鍋高原」施設に統合している。指定管理者制度を継続する理由等については、道の駅「神鍋高原」に記載。

(4) 指定管理者制度評価委員会の意見

3施設合わせて、新たに道の駅「神鍋高原」として、指定管理者制度による管理運営をすることとなっている。引き続き地域の活性化や観光振興を図る施設として努力すること。

1～3(3)を所管課が記入する。